



こうやって変革した⑳

取材を続けていると、思いがけない収穫を得ることがある。今回の女子栄養大学(香川芳子学長、埼玉県坂戸市、東京都豊島区駒込)の取材が、まさに、そうだった。管理栄養士に多数合格するなど就職率の高さ、総合大学に比べ不利といわれる単科大学広報の難しさ、などを聞きに女子栄養大を訪れた。収穫をもたらしたのは、対応してくれた同大常任理事の染谷忠彦だった。染谷は、かつて東洋大学(文京区白山)で、大学のキャラクターにムーミンを起用したり、他大学に先駆けた入試戦略を展開して成功させた伝説の広報マン。今回、女子栄養大の広報体制を聞いたのはもちろんだが、東洋大時代の広報についても尋ねた。総合大学と単科大学で広報を経験した染谷に、それぞれの強みと弱みを聞くことが出来た。(文中敬称略) (文中敬称略)

伝説の広報マンが指揮

女子栄養大学は香川 綾 栄養学科と大学院(栄養学が、夫の昇三とともに創立 研究科)が坂戸キャンパスした学校法人香川栄養学園 ス、栄養学部(夜間)が運営する。併設校に短期は短期大学部、専門学校と大学部、香川栄養専門学校ともに駒込キャンパスで学がある。綾は一九三三年に 染谷が説明する。「うち家庭栄養研究会、四〇年に女子栄養学園、六一年に女子栄養大学を設立した。調理計量器のひとつ、香川式計量器を考案したことで知られる。女子栄養大は、栄養学部の単科大学で、実践栄養学、保健栄養学、食文化と、これまでで一番勉強

した」といっている。同大の就職率の高さは定評がある。生活習慣病、メタボ、中国産食品の問題、食と健康は近年、この国では重要なテーマだ。「かつては健康イコール運動でしたが、いまや健康イコール食事といわれている。これも追い風になっている」(染

「食の時代」、就職は好調

難易度ごとの大学造り

東洋大 実績 難易度

例年トップを占める。管理栄養士を取った学生は医療・福祉施設だけでなく、官公庁や食品会社、スポーツチームなど、幅広い分野に就職している。ときに、染谷が、二〇〇三年に女子栄養大に来て、まず手掛けたのが、広報部の設置と大学のキャラクター作成だった。

女子栄養大学



女子栄養大学 常任理事 染谷忠彦

「単科大学は、総合大学と違って規模が小さいし、教育や研究内容もあまり知られていない。いくら、い

「広報は、市場とは何かを考え、市場のレベルに合わせる。市場とは何か

か、学ぶべきだ。企業は商品が売れなかったら倒産してしまう。こういったところには必ず、ヒントがある」

は、社会的認知度や難易度の高い大学づくりだけでなく、難易度ごとの大学づくりがあるという考えを持つことだ。

谷)という。管理栄養士、栄養士、養護教諭、家庭科教諭といった資格を取る学生が多い。病院や老人ホームなどで栄養の指導に当たる管理栄養士の国家試験でも、同大は

「単科大学は、総合大学と違って規模が小さいし、教育や研究内容もあまり知られていない。いくら、い

「広報は、市場とは何かを考え、市場のレベルに合わせる。市場とは何か

か、学ぶべきだ。企業は商品が売れなかったら倒産してしまう。こういったところには必ず、ヒントがある」

は、社会的認知度や難易度の高い大学づくりだけでなく、難易度ごとの大学づくりがあるという考えを持つことだ。

は、社会的認知度や難易度の高い大学づくりだけでなく、難易度ごとの大学づくりがあるという考えを持つことだ。